



梶中学校だより

令和6年 3月 8日

住所：梶町4-28-5

電話：06-6902-0813

念願かなった百人一首大会開催！！

本来であれば、1月25日（木）に開催を予定していましたが、インフルエンザの流行により、学年閉鎖をせざるを得ない状況となり、開催出来ませんでした。学年末テストも終了し、インフルエンザの流行も落ち着きを見せてきましたので、3月6日（水）の5・6時間目を利用してやっと開催することが出来ました。

最近、寒波が襲来し、寒い日々が続いていますが、熱い戦いが繰り広げられました。百首一回勝負で、畳の上にカルタを並べて行います。百人一首は、



覚えている生徒とそうでない生徒で実力差がありますので、練習等での結果での実力を反映したグループ分けで行い、個人賞とクラス賞を決定します。詠み手は、



学年の先生が手分けして詠みますので、詠み手の先生の特徴も出ていたと思いますし、次はどの先生が詠むのかなというドキドキ感も生徒たちは楽しんでいました。今回は、初めての経験ですが、詠み手1人につき1枚ボーナス札があり、その札を取った生徒には、5点が与えられます。私も見学をしていたのですが、詠み手に選んでいただき久しぶりに百人一首を詠ませてもらいました。私自身も楽しめた大会となりました。

霧島先生からの講評

初めは、枚数も多く広い範囲にカルタが並べられており、飛びついてとる生徒もいましたが、比較的小となしい感じで進んでいたようです。休憩をはさんで、残り50首を切るようになると頭を引っ付けてカルタを取り囲むところが多く（コロナの時は出来なかったですが）、前半と異なり白熱した勝負となっていました。歓声も多く聞かれるようになり、本当に楽しんでいる様子でした。実施を決定した学年としてもいい大会になったと感じています。個人の部はこの紙面では紹介しませんが、クラスの部では1組が1位となりより大きな歓声を上げていました。担任の霧島先生もガッツポーズをして喜んでいる様子が見られ、いい雰囲気だなと感じました。

最後の講評では、次の学年である2年生へ向けて、行事を楽しんでいる姿は良かったが、改善していかねばならない点についてもお話がありました。少しずつかもしれませんが、学年としてのまとまりが強くなってきたようには私も感じています。いい雰囲気になってきたなとも感じていますので、改善しなければならない点については改善し、第56期生が、素晴らしい学年へと成長してくれることに期待をしています。頑張ってください。

<お知らせ>

図書室内の蔵書整理を今年度末に行います。その影響で、今年度の最終返却日が、3月12日（火）となっています。必ず返却するようにしてください。お願いします。

